

(資料2、講演要旨記載例)

講演
番号

ナノバブルによる水素浴槽水について

○大河内正一¹、大波英幸¹、芝塚全功²

(¹法政大学、²(株)Water Design)

Hydrogen Bath Water by Nano Bubble system

Shoichi Okouchi¹, Hideyuki Ohnami¹, Masahiro Shibatsuka²

(¹Hosei University, ²Water Design Co. Ltd.)

1. はじめに

これまで演者らは、新鮮な温泉水は還元系¹⁾にあり、その還元系は水素を浴槽水に溶解させることにより容易に実現できることを明らかにしてきた²⁾-----。

2. 実験

実験は、北海道苫小牧の銭湯、苫小牧公園湯をお借りして行った。通常の浴槽に加え、小さいながら人工炭酸泉浴槽が併設されている。その人工炭酸泉浴槽は、NB発生装置として、ベンチュリー型のUFB (Ultra Fine Bubble ; Water Design-----)。

3. 結果および考察

UFB装置の稼働前の浴槽水は、ORP的に酸化系にあったが、稼働15分で還元系にシフトし、水素濃度は250ppbとなり、さらに時間経過に伴いORPはより低下-----。

参考文献

1) 大河内ら, 温泉科学, **48**, 29-35 (1998), 2) Kurita, Okouchi et.al., **63**, 317-327(2014).

注意事項

- 1) A4版を使用し、左右2cm、上下3cmの余白を確保し、枠内左上部隅に講演番号（事務局記入）を記入のため、5cm x 5cmの空欄を設け、2ページ目以降使用する場合は、枠全体を使用すること。
- 2) 題目、講演者氏名、所属は和文、英文共に上から順に記す。題目はゴシック14ポイントとし、センタリングすること。講演者氏名、所属はゴシック12ポイントとする。所属と名前の対応は上付き数字で対応させ、所属は(括弧)で括ること。登壇者には氏名の前に○印を付すこと。
- 3) 本文は明朝体10.5ポイントとし、1行40文字、1ページ35行とすること。図表を使用する場合は、本文枠内に直接記入するか、鮮明な図表を貼り付けること。
- 4) 一般講演とポスター講演は、1演題あたり1から2ページです。
- 5) 講演要旨の締め切りは9月27日(月)必着のこと。

原稿はPDFとし、以下のアドレスに添付送信して下さい。

E-mail: okouchi@hosei.ac.jp

温泉科学会第74回大会 大河内正一